

## 職員による自己評価

## A 環境面

・活動エリアと学習エリアを分けたことで、子どもたちが集中しやすくなり、落ち着いて取り組んでいます。

・急な欠勤が発生した際、調整が難しい場合には、職員体制が手薄に感じることがあります。

## B 児童への支援内容

・行事での外出機会を増やし、さまざまな体験を提供しています。

・お金の計算や子ども会議を通じて、社会性を育む支援を行っています。

・高学年の子どもたちが低学年の児童の良いお手本となるようサポートし、子ども同士の交流を積極的に取り入れています。

## C 関係機関との連携

・ケース会議には積極的に参加しています。

・学校の先生とは送迎時など日常的に情報共有を行っています。

・気になる点がある場合は、すぐに学校へ連絡し、確認や相談を実施しています。

## D 保護者への説明責任・信頼関係

・連絡帳アプリを活用し、毎日写真を共有することで、保護者の方に子どもたちの様子を見てもらっています。

・月間通信にて、個別評価を毎月実施し配布しています。

・SNSでも毎日活動報告を行い、透明性のある情報発信を心がけています。

## E 非常対応

・非常災害マニュアルを改めて配布しました。

・年2回の訓練を実施し、連絡帳や通信を通じて保護者の方へも訓練の様子をお伝えしています。

## 保護者による評価

## A環境面

・活動に十分な広さはあると思うが、人数が多くなると狭く感じる。

## B 児童への支援内容

・計画も細かくよく見ている。

・色々な内容を日々考えてくれているのがわかる。

## C 事業所からの情報発信

・連絡帳が写真付きで毎回様子がわかるので嬉しい。

・SNSで毎日活動を配信してくれているので、何をしているかがわかりやすくありがたい。

・他の保護者と交流の機会があると嬉しい

## D 非常対応

・非常災害マニュアルも配布されて、避難訓練も実施していただけている。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・ 幅広い活動内容を取り入れている
- ・ 連絡帳に写真を添付しており、保護者が状況を把握しやすい
- ・ SNSを通じて日々の様子を発信し、保護者に活動を確認していただける
- ・ 非常災害マニュアルを配布し、避難訓練の際は写真付きで実施報告を行っている

## 【相違点】

- ・ 父母会の開催がまだできていない

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・子供たちが楽しみながら多様な経験を積めるよう、レクリエーションや行事を通じて、発達支援の視点から充実した体験を提供しています。
- ・各児童の発達段階や個別のニーズに合わせた課題設定をもとに、専門的な支援計画を策定し、実践的なサポートを行っています。
- ・連絡帳アプリを活用し、写真を交えた日々の利用状況の報告により、客観的かつ詳細な記録を維持しています。
- ・毎日 SNS を通じて活動内容を発信し、保護者や関係者との情報共有を透明かつ迅速に実施しています。
- ・月ごとに利用状況や支援計画の評価を体系的に行い、その結果を基に保護者へフィードバックを提供しています。

### 事業所の改善点

- ・父母会の実施

### 事業所の改善への取り組み

以前は父母会を求める親御さんがほとんどいなかったが今回は求める声があった。交流会、懇親会という形や相談、勉強会という内容でも開催を検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

例年より多くの回答を頂けた。

こういった機会では本年を聞くことができないため、良い機会と捉えて改善に向けて対応していく。

事業所名 パレットハウス児童デイサービス保土ヶ谷  
担当者 鈴木 理江